

# 新光トルコ・リラ債券ファンド(毎月決算型)

<愛称:トルコの風>

追加型投信/海外/債券

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「新光トルコ・リラ債券ファンド(毎月決算型)」は、2018年12月25日に第72期決算を行いました。

当ファンドは、トルコ・リラ建てのソブリン債などに実質的に投資を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに第67期から第72期までの運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年6月26日～2018年12月25日

第67期	決算日：2018年7月25日	
第68期	決算日：2018年8月27日	
第69期	決算日：2018年9月25日	
第70期	決算日：2018年10月25日	
第71期	決算日：2018年11月26日	
第72期	決算日：2018年12月25日	
第72期末 (2018年12月25日)	基準価額	2,653円
	純資産総額	265百万円
第67期～ 第72期	騰落率	△ 7.2%
	分配金合計	290円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

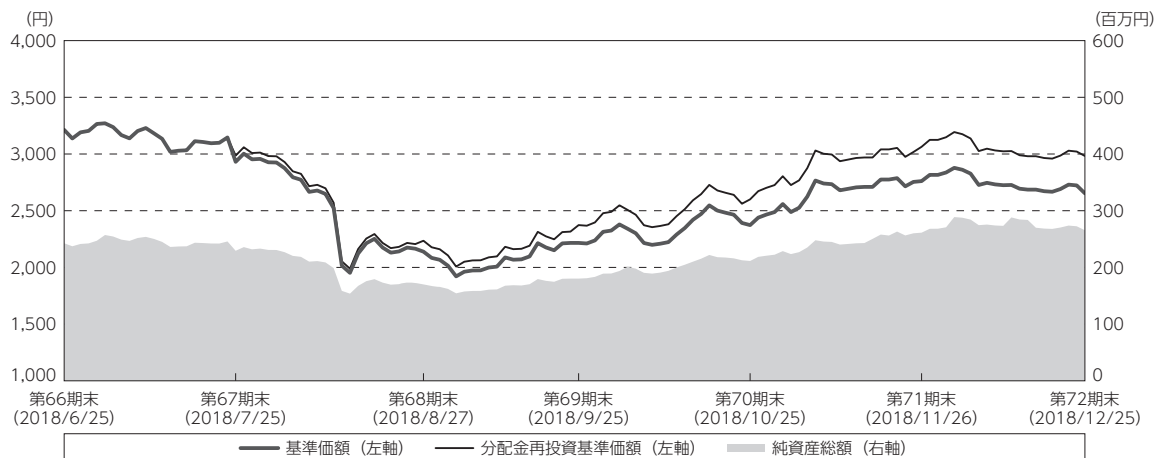
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

**アセットマネジメントOne 株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移 (2018年6月26日～2018年12月25日)



第67期首：3,213円

第72期末：2,653円 (既払分配金:290円)

騰落率：△7.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

(注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。

(注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドでは、新光トルコ・リラ債券マザーファンド(以下、マザーファンド)を通じて、トルコ・リラ建てのトルコ国債や国際機関債などを主要投資対象としています。第67期首に3,213円からスタートした基準価額は、当作成期間中頃までは下落基調となったものの、その後は徐々に下げ幅を縮小する展開となりました。当作成期間中頃にかけては、トルコ債券市場、為替市場ともにトルコ経済が抱える経済的な脆弱性が懸念される中、トルコ企業の債務返済能力や対米関係悪化に対する懸念などを背景に、2018年8月14日に基準価額は当作成期間最安値となる2,007円となりました。その後は、トルコ中央銀行が政策金利を大幅に引き上げる中、トルコ経済に前向きな材料が散見されたことなどから下げ幅を縮小し、2,943円で第72期末を迎えました。(文中の基準価額は当作成期間における分配金(累計)を単純に加算しています。)

## 1 万口当たりの費用明細 (2018年6月26日～2018年12月25日)

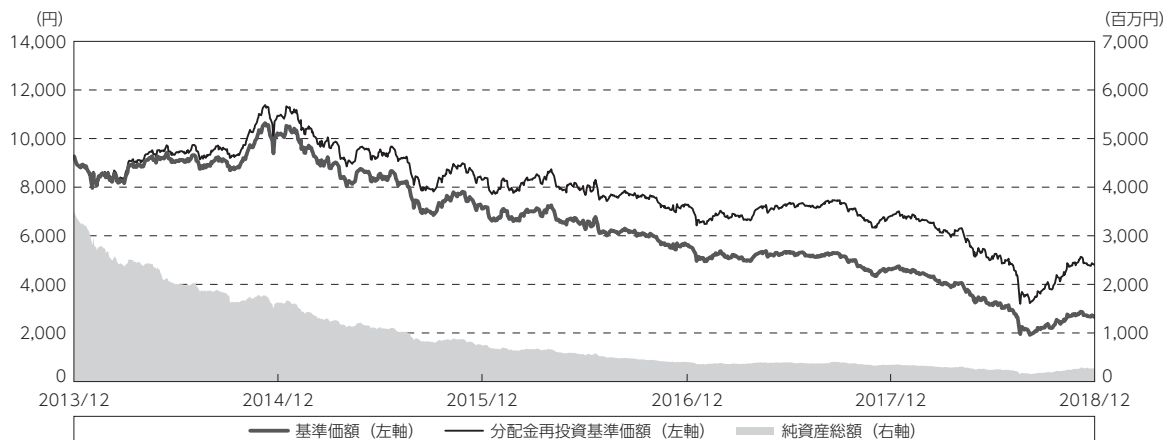
項目	第67期～第72期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社)	18 ( 9)	0.671 (0.325)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 9)	(0.325)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.070	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.063)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.005)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	20	0.741	
期中の平均基準価額は、2,644円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移 (2013年12月25日～2018年12月25日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2013年12月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2013年12月25日 決算日	2014年12月25日 決算日	2015年12月25日 決算日	2016年12月26日 決算日	2017年12月25日 決算日	2018年12月25日 決算日
基準価額	(円)	9,271	10,172	7,111	5,607	4,614	2,653
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	660	660	660	660	620
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	18.0	△ 24.2	△ 12.5	△ 6.2	△ 29.6
参考指数の騰落率	(%)	—	21.3	△ 22.2	△ 10.8	△ 6.0	△ 30.8
純資産総額	(百万円)	3,527	1,621	742	400	341	265

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。

(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン (円換算) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

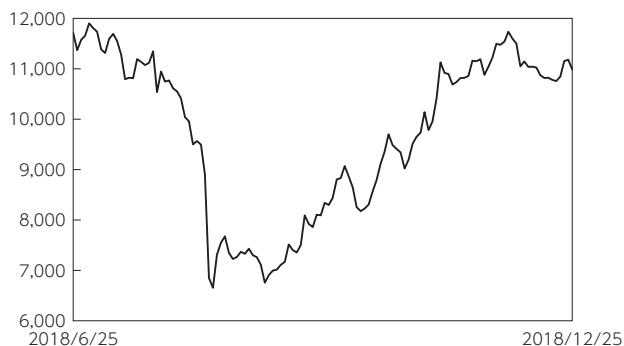
(注5) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準価額算出日前日の指数値を基準価額算出日当日の為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算してあります。

## 投資環境（2018年6月26日～2018年12月25日）

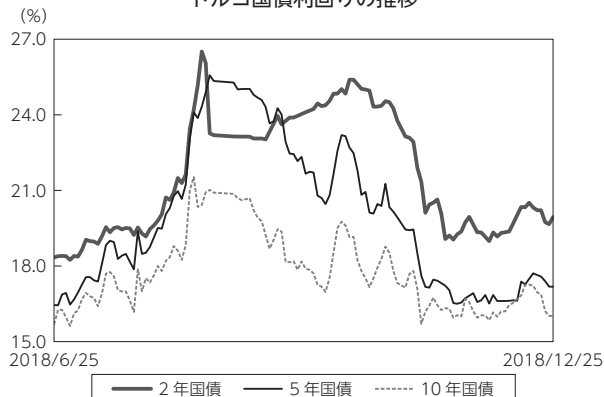
### トルコ債券市場

トルコ債券市場は、当作成期間を通じて見ると債券利回りは上昇（価格は下落）しました。当作成期間はじめより巨額の経常赤字や高進するインフレ率などマクロ経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）の脆弱さが目立つ中、欧州系金融機関によるトルコ向け融資の焦げ付き懸念や米国人牧師の拘束を巡り対米関係が悪化したことなどから、債券利回りは上昇しました。当作成期間期末にかけては、トルコ中央銀行が政策金利を大幅に引き上げる中、対米関係に改善が見られたことや、大幅な通貨安などに伴い国内景気が冷え込み、需給インバランスが改善したことなどが好感され、債券利回りは上げ幅を縮小しました。

JPモルガン GBI-EM トルコトータル・リターン（円換算）の推移



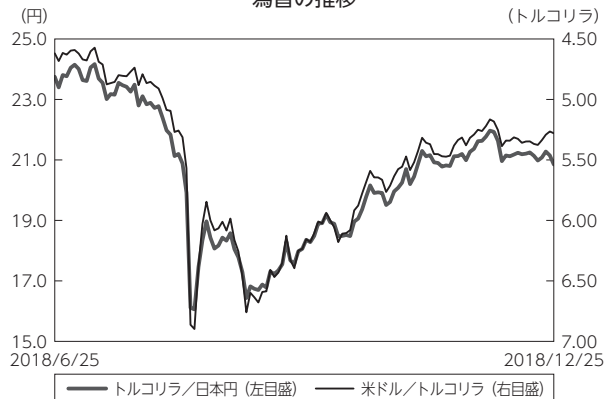
トルコ国債利回りの推移



## 為替市場

為替市場では、トルコリラは当作成期間を通じて見ると対円、対米ドルでともに下落となりました。当作成期間はじめより、巨額の経常赤字による資本流出圧力の高さなど、トルコ経済の抱える経済的な脆弱性に対する懸念が高まる中、トルコ企業向け融資の焦げ付きが懸念されたことや、対米関係の悪化なども投資家心理を冷え込ませたことなどから、下落基調で推移しました。当作成期間末にかけては、急激な通貨安により国内経済が低迷する中、輸出入の改善や原油価格の下落を通じて経常収支が黒字転換したことに加え、米国との対立緩和など、トルコ経済の悪化リスクが後退したことなどから、下げ幅を縮小しました。

為替の推移



## ポートフォリオについて (2018年6月26日～2018年12月25日)

### ●当ファンド

当ファンドでは、マザーファンドを通じて、トルコ・リラ建てのトルコ国債や国際機関債などを主要投資対象としています。

マザーファンドの組入れを高位に維持しました。

### ●新光トルコ・リラ債券マザーファンド

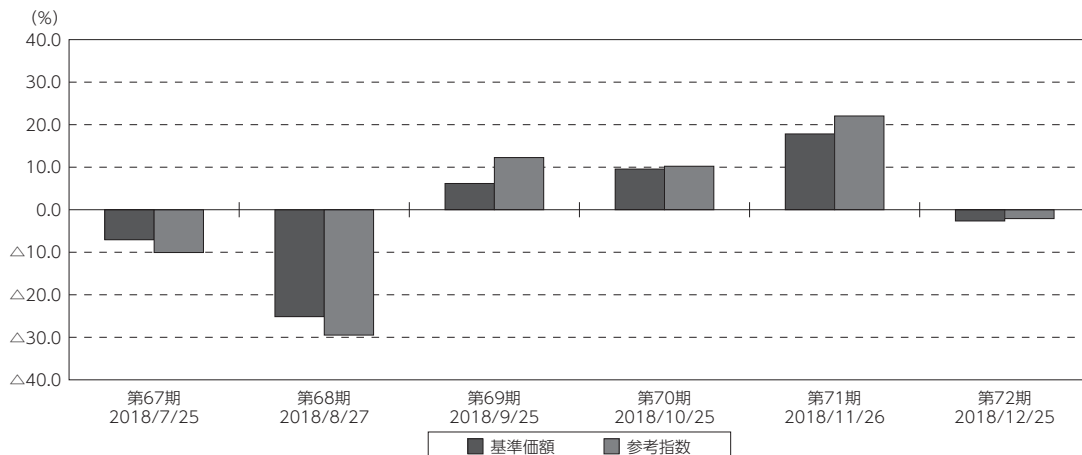
マザーファンドでは、トルコ・リラ建てのトルコ国債や国際機関債などを主要投資対象とし、当作成期間においては安定した利息収入の確保を目指し、トルコ・リラ建てのトルコ国債を高位に組み入れて運用を行いました。デュレーションについては、第67期首より参考指数であるJPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン (円換算) (第72期末時点で3.0年程度) に対して、当作成期間を通じて短めから中立の水準で適宜調整を行い、作成期間末時点では中立の水準としました。

## ■ ベンチマークとの差異について（2018年6月26日～2018年12月25日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のコメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当作成期間における当ファンドの騰落率は、△7.2%（分配金再投資ベース）、参考指数は△6.2%となりました。

【基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）】



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## ■ 分配金 (2018年6月26日～2018年12月25日)

収益分配金につきましては運用実績・分配原資等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■ 分配原資の内訳

(単位:円、1万円当たり、税込み)

項目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2018年6月26日～ 2018年7月25日	2018年7月26日～ 2018年8月27日	2018年8月28日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月25日	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日
当期分配金	55	55	55	55	35	35
(対基準価額比率)	1.842%	2.507%	2.422%	2.265%	1.252%	1.302%
当期の収益	25	22	20	23	27	23
当期の収益以外	29	32	34	31	7	11
翌期繰越分配対象額	1,020	988	954	924	918	907

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金」(税込み)の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金」(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

トルコ経済は、国内景気の弱い状態は継続するものの、経済的な脆弱性は徐々に改善していくことが期待されます。このような中、トルコ中央銀行は為替水準やインフレ動向を見極めながらの政策運営を維持すると思われませんが、政府のトルコ中央銀行に対する利下げ圧力や金融政策への介入姿勢には注意が必要です。

トルコ債券市場は、リスク選好が強まる場面では相対的に高い利回り水準が投資家需要を集めると期待されるものの、目先は地方選挙を控え早期利下げに対する警戒感も残ることに加え、今後も主要国の金融正常化などを巡り値動きの荒い展開も想定されます。

### ● 当ファンド

引き続きマザーファンドの高位組入れを維持する方針です。

### ● 新光トルコ・リラ債券マザーファンド

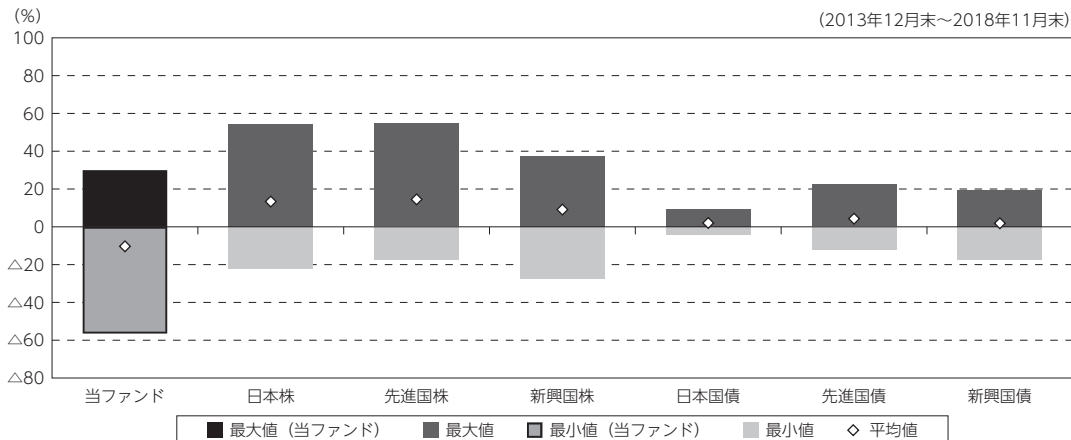
マザーファンドの運用に当たっては、リスク選好が強まる場面では相対的に高い利回り水準が投資家需要を集めると期待されるものの、目先は地方選挙を控え早期利下げに対する懸念も残ることに加え、今後も主要国の金融正常化などを巡り値動きの荒い展開も想定されることから、現状の水準を維持する方針です。また、経済動向などを見極めながら適宜デュレーションの見直しを行います。加えて、イーロードカーブの形状を睨みながら機動的にポートフォリオを構築して行く方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年12月27日から2022年12月26日まで	
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光トルコ・リラ債券 ファンド(毎月決算型)	新光トルコ・リラ債券マザーファンド受益証券（以下、「マザーファンド」といいます。）
	新光トルコ・リラ債券 マザーファンド	トルコ・リラ建ての公社債
運用方法	主としてマザーファンドへの投資を通じて、トルコ・リラ建ての国債や国際機関債等に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。公社債の実質組入比率は、原則として高位を保ちます。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、利子収益相当と判断される額を基礎として、実質的な留保益の水準等を考慮した上で委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	30.0	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	△56.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	△10.3	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年12月から2018年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

### 各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2018年12月25日現在)

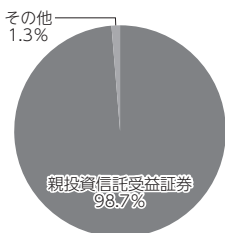
#### ◆組入ファンド等

銘柄名	第72期末
	%
新光トルコ・リラ債券マザーファンド	98.7
組入銘柄数	1銘柄

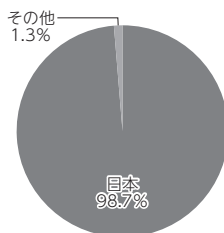
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

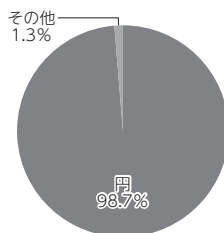
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

### 純資産等

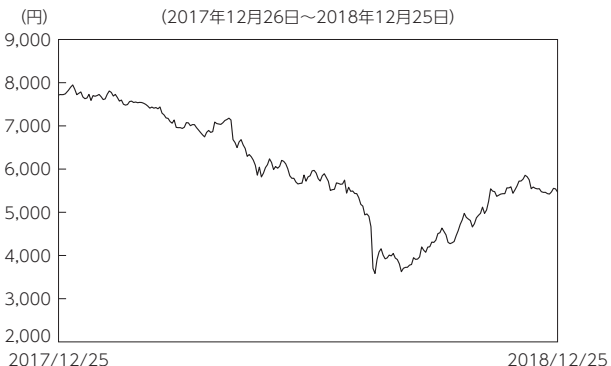
項目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2018年7月25日	2018年8月27日	2018年9月25日	2018年10月25日	2018年11月26日	2018年12月25日
純資産総額	229,335,740円	170,302,644円	180,279,916円	211,334,472円	261,271,247円	265,505,897円
受益権総口数	782,374,804口	796,081,294口	813,602,517口	890,465,127口	946,341,088口	1,000,789,894口
1万口当たり基準価額	2,931円	2,139円	2,216円	2,373円	2,761円	2,653円

(注) 当作成期間(第67期~第72期)における追加設定元本額は365,298,010円、同解約元本額は119,408,585円です。

## 組入ファンドの概要

### [新光トルコ・リラ債券マザーファンド]

#### ◆基準価額の推移

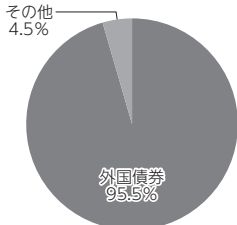


#### ◆組入上位10銘柄

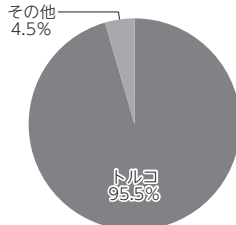
(2018年12月25日現在)					
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	TURKEY GOVERNMENT BOND 10.5% 2020/1/15	国債証券	トルコリラ	トルコ	16.1
2	TURKEY GOVERNMENT BOND 10.4% 2019/3/27	国債証券	トルコリラ	トルコ	15.3
3	TURKEY GOVERNMENT BOND 10.5% 2027/8/11	国債証券	トルコリラ	トルコ	14.1
4	TURKEY GOVERNMENT BOND 12.4% 2028/3/8	国債証券	トルコリラ	トルコ	13.7
5	TURKEY GOVERNMENT BOND 11% 2027/2/24	国債証券	トルコリラ	トルコ	11.2
6	TURKEY GOVERNMENT BOND 10.6% 2026/2/11	国債証券	トルコリラ	トルコ	7.0
7	TURKEY GOVERNMENT BOND 9.5% 2022/1/12	国債証券	トルコリラ	トルコ	6.2
8	TURKEY GOVERNMENT BOND 10.4% 2024/3/20	国債証券	トルコリラ	トルコ	4.8
9	TURKEY GOVERNMENT BOND 8.5% 2019/7/10	国債証券	トルコリラ	トルコ	3.7
10	TURKEY GOVERNMENT BOND 8.8% 2023/9/27	国債証券	トルコリラ	トルコ	3.2
組入銘柄数			10銘柄		

- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。  
 (注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

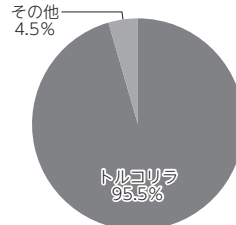
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。  
 (注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。  
 (注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

#### ◆1万円当たりの費用明細

(2017年12月26日～2018年12月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	8 (8) (0)	0.136 (0.132) (0.004)
合計	8	0.136
期中の平均基準価額は、6,157円です。		

- (注1) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注2) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 (注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注4) 比率欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## ＜当ファンドの参考指数について＞

- JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン (円換算)  
JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン (現地通貨) に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。  
JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン (円換算) は、JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン (現地通貨) をアセットマネジメントOneが円換算したものです。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

